

平成 20 年 2 月 25 日
塩野義製薬株式会社

アトピー性皮膚炎の重症度を評価する新しい体外診断用医薬品
「アラポート®TARC」の新発売お知らせ

塩野義製薬株式会社（本社:大阪市中央区、代表取締役社長:塩野元三）は、アトピー性皮膚炎の重症度評価の補助として、血清中ヒト TARC 量の測定用の体外診断用医薬品「アラポート®TARC」を 2 月 29 日に新発売いたします。

「アラポート®TARC」は、ケモカイン（白血球走化性因子）の一種でアトピー性皮膚炎の症状を増悪させると考えられている“TARC”を簡便に測定できる免疫学的検査用キットです。

血清中の TARC 値は、アトピー性皮膚炎において、その重症度を反映して推移します。また、これまでの多施設での臨床試験において、従来の血液検査値(総 IgE、LDH、好酸球)に比べて、アトピー性皮膚炎の標準的な治療による皮膚症状の変化の程度をよく、しかも短期間に反映して推移することが確認されております。

「アラポート®TARC」での検査で、それぞれの患者さんにおけるアトピー性皮膚炎の病勢を免疫学的観点から客観的な数値として示すことができますので、医師によるアトピー性皮膚炎の総合的な重症度評価及び治療効果の判定に際して有用な情報が提供できることとなります。

当社は、「アラポート®TARC」の発売によって、「クラリチン®」、「リンデロン®」などの医療用医薬品のアレルギー性疾患治療薬とともに、アレルギー性皮膚炎において、診断から治療まで幅広く貢献できるよう努めてまいります。

【「アラポート®TARC」の特徴】

1. 簡便な血液検査によってアトピー性皮膚炎の重症度評価の一助となることが出来ます。
2. 専用機器などの特殊な装置を必要とせず、研究室、病院・検査室、検査センターなどの多様な施設において、簡便な操作でかつ少量の検体(50 μ L)での測定が可能です。
3. アトピー性皮膚炎患者の血清 TARC 測定に適した 125~8000pg/mL の測定範囲であることから、高値検体を希釈する頻度が少なく効率的です。

【「アラポート®TARC」の製品概要】

- 販売名 : アラポート®TARC (1キット、96回用)
(製造販売承認取得：2007年10月26日、保険未収載)
厚生労働省に保険適用申請中
- 一般的名称 : Th2ケモカイン・TARCキット
- 使用目的 : 血清中ヒトTARC量の測定(アトピー性皮膚炎の重症度評価の補助)
- 測定方法 : 酵素免疫測定法(ELISA)
- 測定検体量 : 1検体につき、血清50 μ L
- 測定反応時間 : 3時間15分
- 測定範囲 : 125~8000pg/mL
- 貯法・有効期間 : 2~8 $^{\circ}$ C保存で12ヶ月間
- 希望納入価 : 111,000円(税抜き)



ご参考：

【TARCについて】

TARC(thymus and activation-regulated chemokine)は、71個のアミノ酸より構成されるたんぱく質で、特定の白血球を遊走させるケモカイン群の一つです。

アトピー性皮膚炎では、様々な刺激によって皮膚病変(表皮角化細胞)等から、TARC産生が誘導または増強されます。このTARCがリンパ球の一つであるTh2細胞を病変局所に引き寄せてアレルギー反応を亢進させることで、アトピー性皮膚炎の病態形成に関与し、症状を増悪させると考えられています。

[お問合せ先]

塩野義製薬株式会社 広報室

大阪 TEL：06-6209-7885 FAX：06-6229-9596

東京 TEL：03-3406-8164 FAX：03-3406-8099